

梁川ホームだより

令和7年1月23日発行

No. 71

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 星 祐一
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024(577)6111(代) FAX 024(577)6115
■ホームページアドレス <https://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp



事業内容

- 特別養護老人ホーム定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I 型
- デイサービスセンター II 型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
[梁川ホーム運営理念]
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

新年を
お祝い
しました

ケアハウス 広瀬



特養



デイサービス II型



デイサービス I型



特集

「人間尊重の 施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

認知症の方が希望を持って暮らすために

2025年は団塊の世代が全員後期高齢者（75歳以上）になる年です。高齢者が増えるということは、介護においては要介護者の増加と加齢に伴う病気である認知症患者の増加が見込まれるということです。令和6年1月1日には認知症基本法が施行されましたが、目的の中に「認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう」と記されています。

認知症を抱える方が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすとはどういうことでしょうか。自分の気持ちを率直に表現し、やりたいことを実現しながら暮らし続けること、そう言えるのではないかと思います。

自分の気持ちを理解して

もらえる。家族・地域の中で変わらず受け入れてもらえる。自分だけでは難しいことに対して一緒に考え、必要なサポートをしてくれる環境がある。そのためには周囲の認知症に対する理解と、フォーマルな介護サービスやボランティア・近隣による支援など地域に根ざしたサポート体制が必要になります。そのために、私たちができることは何かを考え、一歩ずつ前に進めていくことが大切です。

梁川ホームには介護事業所として入所、泊まり、通いによる介護サービスを提供しているほか、居宅介護支援事業所がケアマネージャーとして在宅介護の支援を行い、地域包括支援センターが認知症介護の啓発

を行う、地域包括支援センターが認知症介護の啓発

普及や予防に資する活動を行っています。こうした介護保険サービスのほか、認知症介護委員会を設けて活動していますので、その中から家族介護者教室について紹介したいと思います。

認知症 家族介護者教室

梁川ホーム認知症介護委員会は、「職員の知識や技術を高めること」「地域・家族の役に立つこと」の2つを目的として活動しており、地域・家族向けの活動として家族介護者教室を開催しています。介護をしている方に役立つ情報をお伝えする場、介護の当事者同士で話しをする場となり、介護をしている方の声を聞かせていただくことは、職員にとって貴重な時間となっています。

今年度は去る11月23日にコロナ禍を経て6年ぶりの

開催となりました。今回の教室の中からいくつかお伝えします。



認知症の方への 対応方法

違ったことを言っても

「否定しない・説得しない」「話題や場面を変えて関心をそらす」

否定や説得をすると、かえって嫌な気持ちにさせておじれてしまうことがあります。相手の様子を見ても、間違っているにも興奮させないように話を合わせたり、

話題や場所を変えることが有効な場合があります。



失敗しても

「叱らない」
「なぜそうしたのかを考え、失敗しなくてすむ環境を整える」

「ダメー」「やらないでー」のように失敗をせめてしまおうと、否定されたイライラの感情で興奮する、自信を無くして元気をなくすことがあります。例えば、見てわかるように調味料のケースに何が入っているか書いておく、トイレへの道順を矢印で示しておく、携帯電話のアラームを設定しておいて時間になったら思い出せるようにしておくなど環境を工夫することで失敗を減らせるかもしれません。

認知症介護の三原則

- 「驚かせない」
- 「急がせない」
- 「自尊心を傷つけない」

認知症になるとちよつとしたことにも感情（気分）が左右されやすく、理解や反応に時間がかかるようになってたりもします。ゆっくり、視線を合わせてやさしい口調でのコミュニケーションを心がけてください。物忘れが進んだとしても、恥ずかしい気持ちや馬鹿にされたくないという気持ちは人として当然に持っています。自尊心を傷つけないコミュニケーションも大切です。

認知症サポーターについて

認知症サポーターとは

全国的に進められている取り組みで、特別な資格や技術は必要ではなく、養成

講座を受講すれば誰でもなることができます。認知症に関する知識や理解を身につけ、地域や職場で認知症の人や家族を支援する人のことです。また、養成講座を受講した人にはオレンジリングが渡されます。リングは認知症サポーターの目印であり、温かさを感じさせるオレンジ色

は「手助けします」という意味を持つとも言われています。



どこで受講できるの

認知症サポーター養成講座は市内にある各地域包括支援センターで開催していますので、どの地区での講座であっても申込み可能です。また、地域単位やサークルなど、人数が集まれば職員が出向いて開催することもできます。認知症の人と家族を温かく見守る応援者が増えて、地域で支え合

意見交換より

えるようになることが目指しているところです。

介護者教室の後半ではご家族と職員によるグループごとに自由に話し合いをする時間を設けています。

物盗られ妄想や、同じことを何度も聞かれイライラしてしまふなどの悩み事や、こんなことで苦労したことがあったという経験がみなさんお一人おひとりにあります。介護という同じ苦労をしている者同士、お互いの話に頷いたり感心したりといった場面が多く見られました。気持ちを分かち合おうと思ったらよいでしょうか。話が弾み表情が和らぐ参加者のみなさんの姿に、介護者教室を開催する意義を強く実感し今後も力を入れていきたいと考えています。

最後に、**認知症介護は「一人で悩まない」**

「一人で頑張り過ぎない」
「一人で抱え込まない」

3つの「ない」で、みんなまで支え合うことが大切です。

私たち梁川ホームも共に支え合う協力者として、認知症介護のスキルに磨きをかけていきたいと思えます。



特養特集

特養 梁川ホーム

担当：大槻



秋まつり

キラリふくしま介護賞

キラリふくしま介護賞



伊藤光滋介護士がキラリふくしま介護賞を受賞し、授賞式に出席しました。内堀知事より表彰され立派な姿を見ることができました。



11月15日、秋まつりを行いました。今年は大ラダンスクラブの方々の素敵なダンスに、大いに盛り上がりました。また、特養の畑で収穫したさつま芋を焼きいもにし皆様にも楽しんでいただく事も出来ました。



おいしいねえ



賀寿祝い

賀寿祝いの式を行いました。伊達市から表彰があり記念品など頂くことが出来ました。職員からもささやかな記念品を贈り喜ばしい日となりました。



新人紹介

【ほほえみ通り】

浅野義貴

梁川ホームに早く馴染み、ご利用者に安心して過ごして頂けるよう頑張りますので宜しくお願いします。



初笑いを
楽しみました



黒髭ゲーム



正月飾り作り



今年もよろしく
お願いします





長寿を祝
い、職員に
よる余興を
楽しんでい
ただきまし
た。



デイサービスⅠ型

デイサービスセンター

担当：佐々木

梁川ホームデイサービスセンターでは、一般型のデイサービスをⅠ型、認知症対応型デイサービスをⅡ型としてサービスを行っています。



季節を感じられるような時間を設けています。季節の物を制作したり、散歩に出掛けたりしています。

外気浴



室内でも体を動かして楽しむゲームを取り入れています。向かい合って行うゲームやピンポン玉を使用したゲームは盛り上がりです。

レクリエーション



クリスマス

去年よりアップした余興で盛り上がりました。

敬老会



デイサービスⅡ型

今年もビンゴ大会で盛り上がりました



新年会



傘回し

南京玉すだれ



外気浴や運動会、五十沢へのドライブなど、たくさんの方の行事に参加していただきました。



秋の行事



クリスマス会

クリスマスソングを歌った後、サンタよりプレゼントを渡しました。



この度めでたく100歳を迎えられた方が2名いらっしゃいました。心を込めて盛大に祝いしました。

賀寿祝い



輪投げ大会

軽費老人ホームの福島県大会
各施設をオンラインで
つないでの開催

福島県内の軽費老人ホーム・
養護老人ホームの19チーム参
加で善戦するも予選敗退でした。
ちなみにケアハウス広瀬に予選で勝
ち上がったチームが、優勝されました。



開始時刻が
近づいてきたら...
ドキドキしてきたあ



練習の時とは、違います



ケアハウス広瀬

担当: 原田



米寿おめでとうございます



「東京だよおっかさん」の
熱演です

祝辞、記念
品の贈呈の後
に、いやしの会
の皆様によるお
祝いの歌や安木
節も披露いた
だきました。



ざる菊 観光



小春日和の暖かい日にざる菊を見てきました。
午前の部、午後の部と二班に分かれての観光です。



キレイに咲かせるの
すごいですねえ



新年会

恒例の獅子舞でお祝い



あんこもちと
きなこもちです



クリスマス会



★チャイルドガーデンヒカリ様による
クリスマスを祝う踊りを見せていただきました



クリスマスプレゼントは、トナカイさんが運びます。

認知症の人とともに…

伊達市
梁川地域包括支援センター
担当：阿部

令和7年には高齢者の5人に1人が認知症になるといわれており増加が見込まれています。若い世代でも、若年性認知症になることもあります。

認知症の方が安心して暮らせるように伊達市では「認知症になってもさすけねえまち」を目指しています。

認知症の人と家族、認知症サポーターとがチームオレンジを編成し、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう共に考え活動する取り組みを行っています。

そして今年度、白根地区でチームオレンジ「しらね里山のみせ」が結成されました。



活動内容

- 里山カフェ(認知症カフェ) 毎月第1火曜日 13:30～15:00 ※12月～3月は休止
- 来客者の見守り ● 専門職へのつなぎ



7/2

お薬についての話



9/3

老後のお金についてのお話



10/1

介護保険のお話と体操

お住まいの地域でも認知症カフェやってみよう！
チームオレンジについて詳しく話が聞きたい等、
梁川地域包括支援センターまでご連絡ください！
TEL 024-572-4872



11/5

終活についてのお話



梁川ホーム指定 居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所は、介護サービスを受けながら在宅で生活を続けたい方の支援を行う事業所です。ケアマネジャーに介護に関する相談やケアプランの作成を依頼しても自己負担はありません。(全額を介護保険で負担します)

地域の皆様の介護に関する様々なお悩みや疑問を解消し、要介護者と各種介護サービスをつなぐ役割を果たすべく努力してまいります。

お花のお手入れや水やりが好きで毎日元気をいただいています。心身共に健康で過ごし介護支援を行うことが目標です。(宇野)

分からないことがわかるようになり、さらに分かる、さらに分かる、これが増える、これを楽しめる余裕をもてるのが目標です。(古山)

土に触れている時間と同じように訪問先で過ごす時間が私にとって癒しの時間になっています。皆さんが今年一年お元気で過ごされるように願いがら、お話をうかがい、相談に乗らせていただきます。(六戸)



自給自足を目標に安心安全な野菜を作って元気なケアマネジャーでいたいです。(大橋)

ケアマネジャーに今年の抱負を語っていただきました



インフルエンザ大流行

「今季のインフルエンザなぜ拡がっているの？」

例年明けから感染が広がることが多いインフルエンザですが、今季は12月に入ったところから「薬局で咳止め不足」「忘年会キャンセル続出」など、大流行にまつわるニュースが飛び交うなど猛威を振るっています。

理由 その①

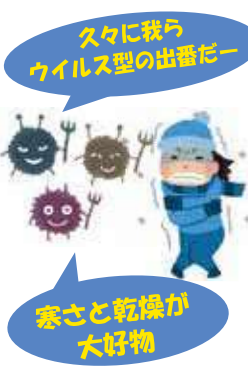
流行していなかった ウイルス型

今季流行しているインフルエンザの型は、しばらく流行がなかったため、抵抗力が落ちている人が多いからです。

理由 その②

この冬は例年より寒い！

ウイルスは低温と乾燥を好み活性化するためです。



今季特に重要な対策のポイント

1 咳エチケット

3つの咳エチケット

- マスクを着用する (口・鼻を覆う)
- マスクがないとき ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- とっさのとき 袖で口・鼻を覆う

2 室内環境

- 湿度・50〜70%
- 温度・20〜25℃程度を保ちましょう。

3 手指の保湿

乾燥による手荒れもウイルスの大好物

30秒手洗いをしてウイルスをきれいに洗い流しましょう。

4 早めの対策

基本的な感染対策の徹底 (手洗い・マスク着用等)、風邪と自己判断せず、症状がある場合は医療機関を受診しましょう。

スタッフ募集

自分らしく働ける環境で一緒に働きませんか？

- 看護師 (①デイサービスセンター、②特養)
 - ① 8:00~17:00 / 8:30~17:30 (1日8時間、週5日勤務シフト制)
 - ② 9:00~10:00 / 10:00~19:00 (1日8時間、週5日勤務シフト制あり、オンコールあり)
- 介護支援専門員 (居宅介護支援事業所) 9:00~18:00 (1日8時間、週5日勤務)
- 運転手 (デイサービスセンター) 8:00~9:30 及び 16:00~17:30 (1日3時間、週4日勤務シフト制)
- 調理員 5:00~14:00 / 5:30~14:30 / 9:00~18:00 / 10:00~19:00 (1日8時間、週5日勤務シフト制)

職場見学可 週休2日 研修制度 交通費支給

こんな人に最適です。 プランクがあるけど挑戦したい!!

ワークライフバランスを大切にしたい | 自分が成長できる環境で働きたい!

お問い合わせはこちらまで ☎024-577-6111 (大竹・高野)

編集後記

少子高齢化社会が一気に進むことから2025年問題が長く議論されてきました。いよいよ2025年を迎えた今日、老人福祉問題にとどまらず、様々な分野に課題が山積しています。考えれば考えるほど気が遠くなるような錯覚に陥りそうですが、各人がやるべきことを見いだせる時、希望が見えてくるのかもしれない。

有吉佐和子さんの小説『恍惚(こうこつ)の人』が再版され、たいへん話題になっていきます。50年前に出版された認知症介護を題材にしたこの小説の人物描写は今なお色あせておらず、はっとさせられます。認知症介護の難しさは、50年前と何も変わっていないと思うか、その理解が深まっていくと良くなってきたと思うか感想が違ってもいいかもしれませんが、共感した読者がたくさんいらしたので再ブームが起きているのだと思います。

個人情報保護法により、紙面に掲載されている写真は、ご本人の承諾を得て掲載しております。